

中央理化製 PMO-B2.5

PMO-B2.5 攪拌機

高トルク・低速回転

長時間連続運転可 ベーンモーターと比較

消費エア一量大幅削減
ベーンモーターと比較



中央理化製 変速ギアあり	攪拌機型式	PTM ギア比	ギア無し
	PMO450-B2.5	回転数 rpm	12~120
	PMO900-B2.5	回転数 rpm	12~120

中央理化製 変速ギアなし <small>(PTM モーターにて 変速ギアオプションを搭載)</small>	攪拌機型式	PTM ギア比	ギア無し	変速ギア 3:1	変速ギア 9:1	変速ギア 1:2	
	PMO450-B2.5	回転数 rpm		30~300	10~100	3.3~33	60~600
		トルク Nm		4~2	12~6	36~18	2~1
	PMO900-B2.5	回転数 rpm		30~300	10~100	3.3~33	60~600
		トルク Nm		8~3	24~9	72~27	4~1.5

中央理化製 PMO-B2.5 攪拌機

PMO-B2.5 シリーズ攪拌機は、中央理化製のベーンエアモーター攪拌機 LZB シリーズではカバーしきれない、低速・高トルクの攪拌を実現致します。LZB シリーズでは低速でベーンモーターを運転すると、モーターに負荷がかかり、モーター内部の消耗品の消耗が早くなってしまいます。PTM 社製のラジアルピストンモーター (P05~P07) を使用することにより、低速・高トルクの攪拌が可能になりました。PMO450、900 シリーズのモーターを弊社の攪拌機減速部に接続する恰好です。

PMO モーターのオプションで PMO モーター自体に減速ギアを搭載が可能ですし、中央理化製減速機にて、減速が可能です。減速比率と性能については上記性能表をご参照ください。

中央理化製攪拌機は、PTM 社製のアジテーターにはない、貫通式シャフト設計により、シャフトの上下調整が容易に可能です。ご使用方法は、PMO モーターに 0.6MPa のドライクリーンエアを供給し、付属のスピードコントローラーにて回転速度を調節可能です。

中央理化製攪拌機架台にそのまま搭載可能ですし、クランプでの取り付けも可能です。